2026年度　全学アクションプラン

分類		主要課題	5カ年の年次推進計画				
			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
Ⅰ. 建学の精神と 二松学舎憲章	1. 建学の精神	・「東洋の精神による人格の陶冶」、「己ヲ修メ、人ヲ治メ、一世に有用ナル人材ヲ養成ス」、この建学の精神を学内・学外に浸透させる	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・既存発行物における発信の継続 ・過去の媒体等に関するヒアリング・検討 ・150周年記念事業での浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・既存発行物における発信の継続 ・ヒアリングに基づいた新規展開等 ・150周年記念事業での建学の精神の 浸透策を検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・既存発行物における発信の継続 ・ヒアリングに基づいた新規展開等	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・既存発行物における発信の継続 ・過去の媒体等に関するヒアリング・検討	・新カリキュラムでの自校教育継続 実施と評価・検証 ・既存発行物における発信の継続 ・ヒアリングに基づいた新規展開等
	2. 二松学舎 憲章	・二松学舎憲章の普及	・150周年に向けた浸透策の実施 ・新たな周知施策の実施効果を検証	・150周年に向けた浸透策の実施 ・新たな周知施策の実施効果を検証	・新たな周知施策の実施効果を検証	・新たな周知施策の実施効果を検証	・新たな周知施策の実施効果を検証
	3. 二松学舎史 編纂事業と 周年事業	・二松学舎150年史の編纂・発行	・150周年史編纂計画大綱に基づき、編纂継続	・150周年史発行			
		・創立150周年記念事業の実施	・創立150周年記念事業の実現に向けた諸準備の実施	・創立150周年記念事業の実現	・創立150周年記念事業のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ	・創立150周年記念事業のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ	・創立150周年記念事業のﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ
Ⅱ. 二松学舎大学 ・大学院の 教育改革	1. 大学の フレーム	・21世紀型教育体制の構築	・新カリキュラム実施状況の確認 ・教育行政の動向に対する情報収集と学部学科改編の可能性の検討	・新カリキュラム実施状況の確認 ・教育行政の動向に対する情報収集と 学部学科改編の可能性の検討 ・新学部学科設置及び改組検討の状況に 合わせた支援	・教育行政の動向に対する情報収集と 学部学科改編の可能性の検討 ・新学部学科設置及び改組検討の状況に 合わせた支援	・教育行政の動向に対する情報収集と 学部学科改編の可能性の検討 ・新学部学科設置及び改組検討の状況に 合わせた支援	・教育行政の動向に対する情報収集と 学部学科改編の可能性の検討 ・新学部学科設置及び改組検討の状況に 合わせた支援
		・学部再編等による特定成長分野への転換支援に係る検討	・「成長分野転換枠」の申請取り下げ ・学部学科改編企画会議、WGによる「大学・高専機能強化支援事業」の「大規模文理横断転換枠」への応募に係る再検討 （～12月末を目途）	・「大規模文理横断転換枠」への申請の 是非について組織決定 ・（申請した場合）事業実現性に係る調査の実施 ・その他	・（申請した場合）新学部新学科用校地 校舎取得調査の実施 ・不動産購入契約等の実施	・不動産購入契約等の実施	・新学部新学科用施設設備の整備
	2. 大学のマネジメント	・次世代型新カリキュラムの編成	・新カリキュラムの導入検討	・新カリキュラムの導入検討	・新カリキュラムの導入	・新カリキュラムの修正	・新カリキュラムの修正
		・開講科目数の適正化	・カリキュラムの修正または新カリキュラムの導入検討に併せた適正コマ数の検証	・カリキュラムの修正または新カリキュラムの導入検討に併せた適正コマ数の検証	・新カリキュラムの導入後における開講科目数適正化の調査及び検証	・新カリキュラムの経過に伴う開講科目数の検証	・新カリキュラムの経過に伴う開講科目数の検証
		・教育、研究環境整備	・ICT教育環境改善の継続検討 ・授業アンケート等結果の共有・分析 ・ﾗｰﾆﾝｸﾞ･ｺﾓﾝｽﾞ利用向上策の実施	・ICT教育環境改善の継続検討 ・授業アンケート等結果の共有・分析	・ICT教育環境改善の継続検討 ・授業アンケート等結果の共有・分析	・ICT教育環境改善の継続検討 ・授業アンケート等結果の共有・分析	・ICT教育環境改善の継続検討 ・授業アンケート等結果の共有・分析
		・教学ガバナンスの確立	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し ・これまでの本学のガバナンス体制の検証	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し ・これまでの本学のガバナンス体制検証結果の反映	・新ガバナンス体制の検証と継続的な見直し ・これまでの本学のガバナンス体制検証結果の反映
		・FD活動の見直し、体系化	・組織的・体系的ＦＤの実施のための年間計画の立案、公開授業の実施やweb授業アンケートの分析・検証と更なる活用	・組織的・体系的ＦＤの実施のための年間計画の立案、公開授業の実施やweb授業アンケートの分析・検証と更なる活用	・組織的・体系的ＦＤの実施のための年間計画の立案、公開授業の実施やweb授業アンケートの分析・検証と更なる活用	・組織的・体系的ＦＤの実施のための年間計画の立案、公開授業の実施やweb授業アンケートの分析・検証と更なる活用	・組織的・体系的ＦＤの実施のための年間計画の立案、公開授業の実施やweb授業アンケートの分析・検証と更なる活用
		・第4期認証評価への対応	・第4期認証評価の大学基準及び評価項目に関する情報収集と学内点検	・第4期認証評価評価資料の提出・受審 ・自己点検・評価活動の実施	・認証評価結果を受けた教育改善策の検討 ・自己点検・評価活動の実施	・認証評価結果を受けた教育改善策の検討 ・自己点検・評価活動の実施	・認証評価結果を受けた教育改善策の検討 ・自己点検・評価活動の実施
		・私立大学等改革総合支援事業への対応	・全学的な取り組み環境の構築 （複数タイプへの申請）	・全学的な取り組み環境の構築 （複数タイプへの申請）	・全学的な取り組み環境の構築 （複数タイプへの申請）	・全学的な取り組み環境の構築 （複数タイプへの申請）	・全学的な取り組み環境の構築 （複数タイプへの申請）
	3. 大学の 教育改革	・教学DXの推進	・学内業務効率化への対応 （DX・AX(AIトランスフォーメーション）視点での改革）＜他の課題も同様＞） ①電子決裁システムの導入 ②学内業務効率化に向けての検討 ・基幹システム及びLMSの運用状況の観察	・学内業務効率化への対応 （DX・AX(AIトランスフォーメーション） 視点での改革）＜他の課題も同様＞） ①電子決裁システム関係 ②学内業務効率化に向けての検討 ・教学DXに関する各種原案検討 （学修成果の可視化を中心に） ・予算措置の検討・調整	・学内業務効率化への対応 （DX・AX(AIトランスフォーメーション） 視点での改革）＜他の課題も同様＞） ・教学DXに関する各種原案検討 （学修成果の可視化を中心に） ・予算措置の検討・調整	・教学DX化の初期段階最終調整 ・基幹システム及びLMSのカスタマイズ実施 ・デジタル化対応インフラの最終調整 ・DX・AX(AIトランスフォーメーション） の継続拡大 ・予算措置の調整・インフラ整備予算	・教学DX化の初期段階整備完了 ・基幹システム及びLMSのカスタマイズ 後の運用開始 ・DX・AX(AIトランスフォーメーション） の継続拡大 ・デジタル化対応インフラの整備完了
		・自校教育の導入・充実	・新カリキュラムでの自校教育の充実に関する検討	・新カリキュラムでの自校教育の充実に関する検討	・新カリキュラムの導入	・新カリキュラムの修正	・新カリキュラムの修正
		・アセスメントプランに基づくアセスメントの実施と成績評価制度の見直し	・GPAの利用範囲拡大について検討 ・アセスメントプランに基づく学修成果の検証	・GPAの利用範囲拡大について検討 ・アセスメントプランに基づく学修成果の検証	・GPAの利用範囲拡大について検討 ・アセスメントプランに基づく学修成果の検証	・GPAの利用範囲拡大について検討 ・アセスメントプランに基づく学修成果の検証	・GPAの利用範囲拡大について検討 ・アセスメントプランに基づく学修成果の検証
		・学生満足度の向上	・前年度に実施した具体策の分析 ・前年度調査の結果分析・課題点等の学内共有と改善策の検討、策定 ・問題点の早期発見、迅速な対応を図るための仕組みの検討	・前年度に実施した具体策の分析 ・前年度調査の結果分析・課題点等の学内共有と改善策の検討、策定	・前年度に実施した具体策の分析 ・前年度調査の結果分析・課題点等の学内共有と改善策の検討、策定	・前年度に実施した具体策の分析 ・前年度調査の結果分析・課題点等の学内共有と改善策の検討、策定	・前年度に実施した具体策の分析 ・前年度調査の結果分析・課題点等の学内共有と改善策の検討、策定

分類		主要課題		5カ年の年次推進計画				
				2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
Ⅱ. 二松学舎大学 ・大学院の 教育改革	3. 大学の 教育改革	・グローバル化の推進		・国際的評価の高い海外教育機関との連係強化、既存協定校との高度な継続的学術交流 ・新たな留学支援制度の実施 ・高度な外国語運用能力とグローバル志向を有する人材の育成および募集方策の実施 ・国際的評価の高い海外大学による高度な教育機会の継続的提供と改善 ・優秀な外国人留学生の戦略的受入れおよび増員策の継続実施と改善 ・既卒外国人留学生との実質的な貢献活動の提案 ・留学生の就職支援策の継続的改善 ・語学センター機能の継続的な改善と新規事業の試験的実施 ・適法な在籍管理業務ツールまたは外部委託の試験的導入	・国際的評価の高い海外教育機関との高度な学術交流の新規取組 ・新たな新言語圏での研修実施と留学支援制度の検証 ・高度な外国語運用能力とグローバル志向を有する人材の輩出 ・複数の国際的評価の高い海外大学による高度な教育機会の提供への取組 ・優秀な外国人留学生の増員策の継続実施 ・既卒外国人留学生への実質的な貢献活動の実施 ・留学生の国内就職の定着化への取組 ・語学センター機能の継続的な改善と新規事業の実施 ・在籍管理体制の適法性の検証と継続的運用	・国際的評価の高い海外教育機関との高度な学術交流の実施 ・留学支援の継続的実施 ・高度な外国語能力とグローバル志向を有する人材の輩出 ・複数の国際的評価の高い海外大学による教育機会の継続的実施と改善 ・極めて優秀な外国人留学生の増員策の戦略的受入れ策の検討 ・既卒外国人留学生への経済的な貢献活動の検討 ・国際的多様性に配慮した、国際基準に則る教育環境の整備方策の検討 ・語学センター機能の継続的な改善と関連事業の継続的実施 ・在籍管理体制の適法性の検証および改善	・国際的評価の高い海外教育機関との高度な学術交流の継続的実施 ・留学支援制度の継続的実施 ・高度な外国語能力とグローバル志向を有する人材の継続的輩出 ・複数の国際的に評価の高い海外大学による教育機会の継続的実施と改善 ・極めて優秀な外国人留学生の増員策の戦略的受入れ策の検討 ・既卒外国人留学生への経済的な貢献活動の実施 ・国際的多様性に配慮した、国際基準に則る教育環境の整備方策の実施 ・語学センター機能の改善と事業の継続的実施 ・外国人留学生数に適合する在籍管理体制の総合的見直し	・国際的評価の高い海外教育機関との高度な学術交流の継続的実施 ・留学支援制度の継続的実施 ・高度な外国語能力とグローバル志向を有する人材の継続的輩出 ・複数の国際的に評価の高い海外大学による教育機会の継続的実施と改善 ・極めて優秀な外国人留学生の増員策の戦略的受入れ策の検討 ・既卒外国人留学生への経済的な貢献活動の実施 ・国際的多様性に配慮した、国際基準に則る教育環境の整備方策の実施 ・語学センター機能の改善と事業の継続的実施 ・外国人留学生数に適合する在籍管理体制の総合的見直し
		・体系的キャリア教育の導入・実施		・新カリキュラムにおけるキャリア科目の改善点の検証 ・次世代型キャリア教育の導入 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・次世代型キャリア教育の成果・課題確認 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・次世代型キャリア教育の成果・課題確認 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・次世代型キャリア教育の成果・課題確認 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に関する意見交換と効果測定	・新カリキュラムの検証・修正 ・次世代型キャリア教育の成果・課題確認 ・IS等派遣先企業と学生の教育効果に関する意見交換と効果測定
		・地域社会との連携強化		・千代田区・柏エリアの連携事業等の実施と検証 ・協定締結自治体との連携事業見直しと新規事業模索 ・高梁市による山田方谷150周年祭への協力	・千代田区・柏エリアの連携事業等の実施と検証 ・協定締結自治体との連携事業見直しと新規事業模索 ・高梁市との協定可能性の協議・調整	・千代田区・柏エリアの連携事業等の実施と検証 ・協定締結自治体との連携事業見直しと新規事業模索	・千代田区・柏エリアの連携事業等の実施と検証 ・協定締結自治体との連携事業見直しと新規事業模索	・千代田区・柏エリアの連携事業等の実施と検証 ・協定締結自治体との連携事業見直しと新規事業模索
			①共同FD年間参加者数	年延べ2名以上	年延べ2名以上	年延べ2名以上	年延べ2名以上	年延べ2名以上
			②共同SD年間参加者数	年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上	年延べ3名以上
			③学生共同ボランティア参加者数	年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上	年延べ6名以上
			④「千代田学」採択件数	隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上	隔年1件以上
			⑤千代田コンソ地域イベントへの地域住民参加者数	延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上	延べ70名以上
			⑥千代田コンソ地域向け共同公開講座実施件数	隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上	隔年1回以上
			⑦地域産業界との連携教育プログラム実施件数	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上	5年間で1企業以上
			KPI ⑧地方大学との相互参加型教育プログラム実施件数	年1回	1回	1回	1回	1回
			⑨共同IRでの分析・公表項目数	年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上	年3項目以上
			⑩アウトカム指標 ⅰ連携事業参加者の満足度 ⅱ単位互換提供科目による実履修科目割合	前年度比5%増 前年度比5%増	前年度比5%増 前年度比5%増	前年度比5%増 前年度比5%増	前年度比5%増 前年度比5%増	前年度比5%増 前年度比5%増
			⑪災害時連携体制の検討または事業実施回数	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上	年1回以上
			地域連携イベント参加者増加率（基準値：2017年度）	110%	115%	120%	120%	120%
			生涯学習講座受講者数（基準値：2017年度）	110%	115%	120%	120%	120%
		・研究内容のレベル維持		・大学院生の研究成果公表数向上策の見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・見直し	・大学院生の研究成果公表数向上策の見直し ・研究科の研究内容のレベル維持・見直し
		・教職採用者数の維持		・採用選考に係る情報収集・対策実施 ・支援講座改善策検討 ・教育力向上のための紀要刊行 ・新教職課程に関する情報収集	・採用選考に係る情報収集・対策実施 ・支援講座改善策検討 ・教育力向上のための紀要刊行 ・新教職課程に関する対応策検討	・採用選考に係る情報収集・対策実施 ・支援講座改善策検討 ・教育力向上のための紀要刊行 ・新教職課程に関する認定申請対応	・採用選考に係る情報収集・対策実施 ・支援講座改善策検討 ・教育力向上のための紀要刊行 ・新教職課程に関する情報収集 ・小学校新学習指導要領実施に対する対応策検討	・採用選考に係る情報収集・対策実施 ・支援講座改善策検討 ・教育力向上のための紀要刊行 ・新教職課程に関する情報収集 ・小学校新学習指導要領実施予定 ・中学校新学習指導要領に関する対応策検討
		・産学連携の推進		・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進 ・新規連携事業の検討・実施	・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進	・提携企業との連携継続実施 ・共同研究等外部研究資金獲得の推進
	4. 研究活動の 推進	・科研費採択件数の向上		・科研費獲得件数の増加・支援体制の再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施	・科研費獲得件数の増加・支援体制の再検証 ・ベンチマーク校との採択率比較実施 ・教員へのガイダンス実施
	5. 学生支援	・奨学金制度の見直し		・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証	・新たな奨学金制度の効果検証
		・課外活動充実策の抜本的見直し		・学生会と連携して、意見交換を継続実施し、見直し・改善策を検討 ・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携して、意見交換を継続実施し、見直し・改善策を検討 ・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携して、意見交換を継続実施し、見直し・改善策を検討 ・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携して、意見交換を継続実施し、見直し・改善策を検討 ・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。	・学生会と連携して、意見交換を継続実施し、見直し・改善策を検討 ・父母会等の課外活動活性化に資する助成利用を定期的に保証人及び学生に通知し、活動促進に繋げる。
		・就職率の向上、維持		・キャリアセンター認知度向上、活用推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の実施 ・教員との協働によるキャリア支援の実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	・キャリアセンター認知度向上、活用推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の実施 ・教員との協働によるキャリア支援の実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	・キャリアセンター認知度向上、活用推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の実施 ・教員との協働によるキャリア支援の実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	・キャリアセンター認知度向上、活用推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の実施 ・教員との協働によるキャリア支援の実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール	・キャリアセンター認知度向上、活用推進 ・学生満足度の高いキャリア支援の実施 ・教員との協働によるキャリア支援の実施 ・低学年へのアプローチ強化 ・就職実績等の対外アピール
		・学生情報（教育成果）の管理、活用推進		・保護者ポータル運用状況検証 ・学生ポートフォリオのシステム運用状況検証	・保護者ポータル運用状況検証 ・学生ポートフォリオのシステム運用状況検証	・保護者ポータル運用状況検証 ・学生ポートフォリオのシステム運用状況検証	・保護者ポータル運用状況検証 ・学生ポートフォリオのシステム運用状況検証	・保護者ポータル運用状況検証 ・学生ポートフォリオのシステム運用状況検証

分類		主要課題	5カ年の年次推進計画				
			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
Ⅱ. 二松学舎大学・大学院の教育改革	6. 入学者の確保、退学者等の減少	・外国人留学生在籍者数の安定的確保、増員	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ・入学者選抜時における在留資格等管理方法の検討と実施	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ・入学者選抜時における在留資格等管理方法の検討と実施	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ・入学者選抜時における在留資格等管理方法の検討と実施	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ・入学者選抜時における在留資格等管理方法の検討と実施	・外国人留学生確保のための広報検討と前年度の検証 ・大学院留学生確保のための戦略の検証と見直し ・入学者選抜時における在留資格等管理方法の検討と実施
		・新入試制度への対応	・基礎学力型総合型選抜の周知と安定的実施。改革総合支援タイプ1採択を目指した入試制度の検証と調整 ・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し ・ゼロ学期対策等低学年向け広報拡充とイベント来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・基礎学力型総合型選抜の検証と見直し。改革総合支援タイプ1採択を目指した入試制度の検証と調整 ・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し ・ゼロ学期対策等低学年向け広報拡充とイベント来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・改革総合支援タイプ1採択を目指した入試制度の検証と調整 ・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し ・ゼロ学期対策等低学年向け広報拡充とｲﾍﾞﾝﾄ来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・改革総合支援タイプ1採択を目指した入試制度の検証と調整 ・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し ・ゼロ学期対策等低学年向け広報拡充とｲﾍﾞﾝﾄ来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫	・改革総合支援タイプ1採択を目指した入試制度の検証と調整 ・受験生増に向けた前年度入試制度・広報戦略の検証・情報共有と見直し ・ゼロ学期対策等低学年向け広報拡充とｲﾍﾞﾝﾄ来場者満足度向上に向けたプログラムの工夫
		・退学率の低減	・「学生ひろば(仮)」の検証後の施策 ・メンタル不調による休退学者の増加に対する動的フォロー・新たな仕組み作りの検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と検証	・新たな施策の運用 ・休退学者数の動的フォロー・分析と改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と検証	・新たな施策の運用 ・休退学者数の動的フォロー・分析と改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と検証	・新たな施策の運用 ・休退学者数の動的フォロー・分析と改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と検証	・新たな施策の運用 ・休退学者数の動的フォロー・分析と改善策の検証 ・こころとからだの相談窓口の運用と検証
		・大学院の入学定員充足対策	・大学院志願者増のための広報検討 ・内部進学者を対象とした大学院PR策の検討 ・大学院科目のオンライン開講・学外開放の検討 ・学部生の大学院科目受講及び5年一貫コースの検討	・前年度検討事項の検証・効果検証	・前年度検討事項の検証・効果検証	・前年度検討事項の検証・効果検証	・前年度検討事項の検証・効果検証
	7. キャンパス整備	・九段・柏キャンパスの整備	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉実施、定期借家契約への切り替え促進 ・九段6号館1F・2F改修工事の実施 ・柏キャンパスリニューアル計画の概要確定、一部改修工事着手	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントとの交渉実施、定期借家契約への切り替え実現 ・九段6号館1F・2Fへの学生相談機能の移転実現	・近隣不動産物件情報の収集 ・九段5号館各テナントの転居・明け渡しの実現	・九段5号館各テナントの転居・明け渡しの実現	・新学部新学科開設を踏まえた教育研究施設設備の整備
	8. 図書館機能の整備	・附属図書館（九段・柏）の蔵書精査	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・文学研究科歴史文化学専攻設置に伴う資料整備（1年目）	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開 ・文学研究科歴史文化学専攻設置に伴う資料整備（完成年度）	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開	・蔵書資料の重複調査及び除籍 ・電子書籍の充実 ・所蔵資料の電子化及び公開
	9. DXの推進	・新教学システムの活用・推進	・システムの導入結果の検証 ・LMSの内容検証	・システムのカスタイズ検討 ・LMSのカスタマイズ検討 ・チャットボットの実用化	・システムのカスタイズ検討 ・LMSのカスタマイズ検討	・システムのカスタイズ検討 ・LMSのカスタマイズ検討	・システムのカスタイズ検討 ・LMSのカスタマイズ検討
Ⅲ. 附属高校の教育改革	1. 教育改革	・自校教育の推進	・建学の精神の継承（「論語」教育、『私の論語』作成） ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承（「論語」教育、『私の論語』作成） ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承（「論語」教育、『私の論語』作成） ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承（「論語」教育、『私の論語』作成） ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施	・建学の精神の継承（「論語」教育、『私の論語』作成） ・「今週の論語」継続実施・検証 ・特色ある教育活動の検証後実施 ・遠隔授業の一部実施
		・新大学入試制度への対応 ・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的進学者数の維持	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・GMARCH30プラン及び日東駒専100プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と改善への応用 ・二松学舎大学進学者向け「学び」のコース及び高大連携の推進 ・放課後学習支援事業の実施・充実 ・次期学習指導要領への対応	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・GMARCH30プラン及び日東駒専100プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と改善への応用 ・二松学舎大学進学者向け「学び」のコース及び高大連携の推進 ・放課後学習支援事業の実施・充実 ・次期学習指導要領への対応	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・GMARCH30プラン及び日東駒専100プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と改善への応用 ・二松学舎大学進学者向け「学び」のコース及び高大連携の推進 ・放課後学習支援事業の実施・充実 ・次期学習指導要領への対応	・進学講座「学び舎」の実施、検証 ・英語4技能の育成(英検2級・準2級合格者増)検証 ・思考力・判断力・表現力育成 ・GMARCH30プラン及び日東駒専100プランの実行・検証 ・指導体制の検証・見直し、特進クラスの強化 ・生徒個々の学習到達度の把握と改善への応用 ・二松学舎大学進学者向け「学び」のコース及び高大連携の推進 ・放課後学習支援事業の実施・充実 ・次期学習指導要領への対応
		・生徒募集力の強化、入学定員管理	・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・各種説明会等の改善の検証 ・本校のニーズを生かした募集活動の検証実施 ・オンライン広報活動の検証	・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・各種説明会等の改善の検証後の実践 ・本校のニーズを生かした募集活動の検証後の実践実施 ・オンライン広報活動の検証後の実践	・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・各種説明会等の改善の検証後の実践 ・本校のニーズを生かした募集活動の検証後の実践実施 ・オンライン広報活動の検証後の実践	・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・各種説明会等の改善の検証後の実践 ・本校のニーズを生かした募集活動の検証後の実践実施 ・オンライン広報活動の検証後の実践	・出願基準等の検討による入学定員管理の徹底 ・各種説明会等の改善の検証後の実践 ・本校のニーズを生かした募集活動の検証後の実践実施 ・オンライン広報活動の検証後の実践
	2. 生徒支援	・生徒、保護者満足度の向上	・「新しい学校生活」の検証 ・遠隔授業の検証 ・在校生への新特待生制度の検証	・「新しい学校生活」の検証後の実践 ・遠隔授業の検証後の実施 ・在校生への新特待生制度の検証後の実施	・「新しい学校生活」の検証後の実践 ・遠隔授業の検証後の実施 ・在校生への新特待生制度の検証後の実施	・「新しい学校生活」の検証後の実践 ・遠隔授業の検証後の実施 ・在校生への新特待生制度の検証後の実施	・「新しい学校生活」の検証後の実践 ・遠隔授業の検証後の実施 ・在校生への新特待生制度の検証後の実施
	3. キャンパス整備	・教育環境の整備、拡充	・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施（雨天練習場の整備検討を含む） ・校舎照明LED化の推進(教室・共用部分)	・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施（雨天練習場の整備検討を含む） ・校舎照明LED化の推進(職員室等) ・PC教室次期リプレースに向けての検証・検討	・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施（雨天練習場の整備検討を含む） ・PC教室次期リプレースに向けての検証・検討	・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施（雨天練習場の整備検討を含む） ・PC教室次期リプレースに向けての検証・検討	・九段校舎の施設拡充策の検討 ・校舎経年劣化に伴う補修工事の実施 ・柏グラウンドの設備充実策実施（雨天練習場の整備検討を含む） ・PC教室次期リプレースに向けての検証・検討
	4. その他	・危機管理体制の確立	・各種法令への適応対策 ・危機管理マニュアルの改訂 ・想定リスク一覧作成 ・想定リスクへの対応	・各種法令への適応対策 ・危機管理マニュアルの改訂 ・想定リスク一覧作成 ・想定リスクへの対応	・各種法令への適応対策 ・緊急連絡網の到達率向上 ・通学トラブル情報の収集体制構築 ・避難訓練、不審者対応訓練のPDCA化	・各種法令への適応対策 ・緊急連絡網の到達率向上 ・通学トラブル情報の収集体制構築 ・避難訓練、不審者対応訓練のPDCA化	・各種法令への適応対策 ・緊急連絡網の到達速度向上 ・生徒の主体的な危機管理への参加 ・教職員の危機管理資格取得

分類		主要課題	5カ年の年次推進計画				
			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
Ⅳ. 附属柏中学校・高校の教育改革	1. 教育改革	・自校教育の推進	「論語」による人間形成の実践 ・中学校＝道徳性の涵養 ・高校＝人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校＝道徳性の涵養 ・高校＝人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校＝道徳性の涵養 ・高校＝人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校＝道徳性の涵養 ・高校＝人間力向上	「論語」による人間形成の実践 ・中学校＝道徳性の涵養 ・高校＝人間力向上
		・難関大学への進学実績向上 ・生徒平均学力の向上 ・二松学舎大学への安定的進学者数の維持 ・グローバル人材育成に重点を置く「学び」	・留学先の拡大検討 ・英検2級全員合格目標達成の確認 ・中高6カ年の探求学習の継続実施・改善 ・外部模試等の改善・継続実施 ・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・二松学舎大学への進学率安定化対策継続実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・放課後学習センター検証・実施 ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化 ・学習指導要領改訂(中学：2031年度、高校：2032年度)に係る情報収集	・留学先の拡大実施 ・英検2級全員合格目標達成の確認 ・中高6カ年の探求学習の継続実施・改善 ・外部模試等の改善・継続実施 ・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・二松学舎大学への進学率安定化対策継続実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・放課後学習センター検証・実施 ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化 ・学習指導要領改訂(中学：2031年度、高校：2032年度)に係る情報収集	・留学先の最終評価 ・英検2級全員合格目標達成最終評価 ・中高6カ年の探求学習の改善・最終評価 ・外部模試等の改善・継続実施 ・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・二松学舎大学への進学率安定化対策継続実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・放課後学習センター検証・実施 ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化 ・学習指導要領改訂(中学：2031年度、高校：2032年度)に則ったｶﾘｷｭﾗﾑ検討	・留学先の最終評価 ・英検2級全員合格目標達成最終評価 ・中高6カ年の探求学習の改善・最終評価 ・外部模試等の改善・継続実施 ・教員の指導力(ICT含む)向上策の改善、継続実施 ・二松学舎大学への進学率安定化対策継続実施 ・ポートフォリオの継続実施 ・放課後学習センター検証・実施 ・学校推薦型・総合型選抜対策の強化 ・学習指導要領改訂(中学：2031年度、高校：2032年度)に則ったｶﾘｷｭﾗﾑ検討
		・生徒募集力の強化	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し ・入試制度見直し・実施	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し ・入試制度見直し・実施	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し ・入試制度見直し・実施	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し ・入試制度見直し・実施	・高校は臨時定員終了後の生徒募集へ移行 ・中高広報活動の強化 ・中学募集対策継続実施 ・戦略的スクールバス運行計画の実施・見直し ・入試制度見直し・実施
	2. 生徒支援	・生徒、保護者満足度の向上	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・生徒・保護者満足度上昇策の改善、継続実施（満足度調査を中高全学年毎学期実施） ・ﾌｧｲﾝｼｽﾃﾑ･ｽﾀﾃﾞｨﾌﾟﾗｽを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ・生徒面談の充実とｶｳﾝｾﾗｰの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・時代の変化に合わせた調査内容の検討・精査。調査方法を再検討 ・ﾌｧｲﾝｼｽﾃﾑ･ｽﾀﾃﾞｨﾌﾟﾗｽを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ・生徒面談の充実とｶｳﾝｾﾗｰの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・調査内容の検討・精査を継続 ・ﾌｧｲﾝｼｽﾃﾑ･ｽﾀﾃﾞｨﾌﾟﾗｽを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ・生徒面談の充実とｶｳﾝｾﾗｰの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・調査内容の検討・精査を継続 ・ﾌｧｲﾝｼｽﾃﾑ･ｽﾀﾃﾞｨﾌﾟﾗｽを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ・生徒面談の充実とｶｳﾝｾﾗｰの活用	・特待生制度改善実施の継続 ・二松キャリアデザインプログラムの継続実施 ・調査内容の検討・精査を継続 ・ﾌｧｲﾝｼｽﾃﾑ･ｽﾀﾃﾞｨﾌﾟﾗｽを利用した生徒指導の継続とPDCAサイクルの検証 ・生徒面談の充実とｶｳﾝｾﾗｰの活用
Ⅴ. 財務、人材育成、評価、組織、広報、その他	1. 長期 ビジョンの推進	・ＫＰＩ目標数値の達成	・KPIダッシュボード管理システムの検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因分析実施 ・採用KPI指標の見直し	・KPIダッシュボード管理システムの検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因分析実施 ・採用KPI指標の見直し	・KPIダッシュボード管理システムの検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因分析実施 ・採用KPI指標の見直し	・KPIダッシュボード管理システムの検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因分析実施 ・採用KPI指標の見直し	・KPIダッシュボード管理システムの検証・見直し ・ベンチマーク校とのKPI差異の要因分析実施 ・採用KPI指標の見直し
	2. 財務	・強固な財務基盤の維持、向上 ・資金運用収入の確保 ・寄付金収入の確保	・収入増＆支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 ・学納金改定の実施（初年度） ・R&I発行体格付け「A-」の維持（継続） ・資金運用計画の策定と運用 ・「150周年記念募金」による寄付金募集活動の実施	・収入増＆支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 ・学納金改定の実施（２年度） ・R&I発行体格付け「A-」の維持（継続） ・資金運用計画の策定と運用 ・「150周年記念募金」による寄付金募集活動の実施	・収入増＆支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 ・学納金改定の実施（３年度） ・R&I発行体格付け「A-」の維持（継続） ・資金運用計画の策定と運用 ・「150周年記念募金」による寄付金募集活動の実施	・収入増＆支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 ・学納金改定の実施（４年度） ・R&I発行体格付け「A-」の維持（継続） ・資金運用計画の策定と運用 ・「150周年記念募金」による寄付金募集活動の総括	・収入増＆支出減対策の実施 ・収入増加策、各種業務改善・効率化策の継続的提案実施 ・学納金の見直し検討 ・R&I発行体格付け「A-」の維持（継続） ・資金運用計画の策定と運用
		・奨学金制度の整理・体系化	・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・(仮称)奥村記念奨学制度の検討 ・新学費負担軽減措置の導入	・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・冠奨学金制度の規程化検討、制定	・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・「冠奨学金制度」の導入	・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・「冠奨学金制度」の導入	・新組入計画の実行 ・奨学金制度全体の効果検証、見直し ・新教育研究奨励制度の細則導入 ・「冠奨学金制度」の導入
	3. 教職員の育成(人事・評価制度、能力開発・研修制度)	・二松学舎ＳＤ計画の推進	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のＳＤ計画を基にキャリアディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のＳＤ計画を基にキャリアディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のＳＤ計画を基にキャリアディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のＳＤ計画を基にキャリアディベロップメントの制度を検討	・体系的なSD計画の実施・検証 ・既存のＳＤ計画を基にキャリアディベロップメントの制度を検討
		・人事計画の見直し	・人事異動・採用計画の継続的な見直し	・人事異動・採用計画の継続的な見直し	・人事異動・採用計画の継続的な見直し	・人事異動・採用計画の継続的な見直し	・人事異動・採用計画の継続的な見直し
		・人事評価制度の改善	・評価研修 ・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し	・評価の検証と見直し
	4. 教職員の勤務形態	・働き方改革	・働き方改革への対応指針の検討（継続）	・働き方改革への対応指針の検討（継続）	・働き方改革への対応指針の検討（継続）	・働き方改革への対応指針の検討（継続）	・働き方改革への対応指針の検討（継続）
	5. 組織・権限	・法人ガバナンスの検証、改善	・ガバナンス・コード点検結果報告書 の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書の作成	・ガバナンス・コード点検結果報告書の作成
	6. 広報	・知名度の向上	・前年度等入試広報の費用対効果検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビデンスに基づく広報展開 ・受験生サイトの更新検討 ・大学のホームページリニューアル	・前年度等入試広報の費用対効果検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビデンスに基づく広報展開 ・外部コンサルティング導入の検討 ・新受験生サイトのリニューアル ・大学以外のホームページリニューアル	・前年度等入試広報の費用対効果検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビデンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整	・前年度等入試広報の費用対効果検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビデンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整	・前年度等入試広報の費用対効果検証・見直し ・外部評価機関ランキング等、エビデンスに基づく広報展開 ・新受験生サイトの検証と調整 ・ホームページリニューアル検証
		・漱石アンドロイドの有効活用策の検討とPR活動の推進	・「漱石アンドロイド2.0」の開発 ・外部貸し出しの調整 ・広報活動への活用検討	・漱石アンドロイド2.0の公開 ・広報活動への活用検討	・外部貸し出しの調整 ・広報活動への活用検討	・外部貸し出しの調整 ・広報活動への活用検討	・外部貸し出しの調整 ・広報活動への活用検討

分類		主要課題	5カ年の年次推進計画				
			2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
Ⅴ. 財務、人材育成、評価、組織、広報、その他	7. 情報システム	・ネットワーク環境	・ネットワーク機器の保守状況確認と更新計画の策定、ヒアリング調査、予算申請 ・VPN接続によるネットワーク統合の検証	・大学ネットワーク機器の更新調査 ・柏中高AP入替工事の実施と検証	・大学ネットワーク機器更新予算申請 ・附属高ネットワークの更新策定	・大学ネットワークのリプレース、ネットワーク統合と検証 ・附属高ネットワーク予算申請	・法人、設置各校のネットワーク環境の維持、安定運用の確保。 ・LAN、Wi-Fi環境の速度向上と安定化 ・高速で強靭なﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾌﾗの確立
		・基幹業務システム	・各システムのクラウド移行に向けた調査・検証 ・法人・設置校間でのデータ連携ニーズの整理	・システム・データのクラウド化の調査と予算申請 ・設置校間のデータフォルダの一元化実施	・システム・データのクラウド化と検証 ・設置校とのネットワーク・データフォルダの一元化と管理	・各種システムの更新と効率化の調査 ・システム基盤の効率化の検証	・法人、設置各校の基幹業務システムの安定稼働と効率化・連携強化。 ・クラウドのシステム基盤の構築、法人内のデータ連携と業務効率化の実現
		・情報セキュリティの確保・強化	・セキュリティ対策の運用見直しと強化 ・脆弱性診断の実施と対策 ・セキュリティポリシー・インシデント対応の検証、CSIRTの組織化と運用フローの構築	・EDR対応の調査と検討 ・脆弱性への対応 ・インシデント対応フローの検証と訓練実施	・継続的なセキュリティ確保への調査と検討 ・脆弱性診断の継続実施 ・インシデント対応フローの検証と訓練実施	・継続的なセキュリティ確保への調査と検討 ・脆弱性診断の継続実施 ・インシデント対応フローの検証と訓練実施	・情報資産、個人情報の漏洩リスクの増大への対応 ・教職員・学生生徒のｾｷｭﾘﾃｨ意識による ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ発生ﾘｽｸへの対応、体制構築 ・安全・安定した教育・研究・業務環境の担保
		・PCヘルプデスク対応	・トラブル事例の蓄積とFAQの作成 ・問合せ窓口の一元化と対応フローの効率化	・ポータルサイトのAIチャットボットの実装 ・設置校対応の強化	・各校へのヘルプデスク対応検証 ・設置校対応の検証	・各校へのヘルプデスク対応検証 ・設置校対応の検証	・教職員・学生向けPC管理、ﾍﾙﾌﾟﾃﾞｽｸ対応 ・資産管理とサポートによる、利用者の円滑なIT環境の活用
		・環境整備・ガバナンス	・各種規程・マニュアル等の見直しと改定 ・教職員へのITリテラシー・情報セキュリティ講習会の定期開催 ・最新の製品・技術・法令等の情報収集、各種ITツールのトライアル調査・検証の実施	・各種規程・マニュアル等の見直しと改定・検証 ・講習会の定期開催定着化 ・最新の各種情報収集、各種ITツールのトライアル調査・検証の実施	・各種規程・マニュアル等の見直し、改定・検証 ・講習会の定期開催定着化 ・最新の各種情報収集、各種ITツールのトライアル調査・検証の実施	・各種規程・マニュアル等の現状見直し、改定・検証 ・講習会の定期開催定着化 ・最新の各種情報収集、各種ITツールのトライアル調査・検証の実施	・各種規程・マニュアルの整備・運用、利用者のITリテラシー向上 ・最新技術や事例の情報収集・マーケティング体制の構築 ・新技術（AI等）や法令改正に対応した調査・標準化の仕組みの確立
		・調査・確認(ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ)	・関連機器・システム等の契約管理状況等の調査・審査 ・流出リスク情報のモニタリング、不適切メール等の注意喚起と対策の検討 ・ICT物品の管理のルールの策定と徹底 ・将来的な監査への対応	・関連機器・システム等の契約管理状況等の調査・審査 ・流出リスク情報のモニタリング、不適切メール等の注意喚起と対策の検討 ・ICT物品管理のルールの策定と徹底 ・将来的な監査への対応	・関連機器・システム等の契約管理状況等の調査・審査 ・流出リスク情報のモニタリング、不適切メール等の注意喚起と対策の検討 ・ICT物品管理のルールの策定と徹底 ・将来的な監査への対応	・関連機器・システム等の契約管理状況等の調査・審査 ・流出リスク情報のモニタリング、不適切メール等の注意喚起と対策の検討 ・ICT物品管理のルールの策定と徹底 ・将来的な監査への対応	・関連機器・システムの契約状況等の経営・運用リスク低減。 ・各種リスクの脅威への対策。 ・全IT資産の可視化による適正管理 ・リスクに対する定期的な調査と体制整備、監査対応
	8. その他	・業務の効率化	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー運用開始	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー運用	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー運用	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー運用	・効率的な組織構築に反映 ・適正な人員配置に反映 ・各部署内での面談による業務改善 ・ワークフロー運用
		・既存施設の維持、改善	・長期修繕計画に伴う修繕工事の段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の大規模修繕等の検討	・長期修繕計画に伴う修繕工事の段階的な実施 ・150周年を機とした既存施設等の大規模修繕等の検討	・長期修繕計画に伴う修繕工事の段階的な実施	・長期修繕計画に伴う修繕工事の段階的な実施	・長期修繕計画に伴う修繕工事の段階的な実施
		・ＢＣＰ（事業継続計画）プランの策定	・リスクカタログの整備 ・BCPマニュアルの検証・・見直し ・柏校舎マニュアルの検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し ・柏校舎の自家発電装置効果検証	・BCPマニュアルの検証・見直し ・柏校舎マニュアルの検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し	・BCPマニュアルの検証・見直し ・柏校舎マニュアルの検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し	・BCPマニュアルの検証・見直し ・柏校舎マニュアルの検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し	・BCPマニュアルの検証・見直し ・柏校舎マニュアルの検証・見直し ・柏校舎防災対策検証・見直し